

レジメン名

A+CHP

出典 アドセトリス適正使用ガイド 2019年12月作成

実施部署区分

入院
 外来
 処置

対象疾患

未治療のCD30陽性の末梢性T細胞リンパ腫

-
- 進行・再発
-
-
- 補助療法(術前・術後)
-
-
- 初発
-
-

投与減量の基準

CLcr	30mL/min未満(アドセトリス):減量を考慮
その他	Grade2の運動ニューロパチー Grade3の感覚ニューロパチー :アドセトリスを1.2mg/kgに減量して投与継続

1クール期間 21日

総クール数 8クール

(次のクールまでの標準期間)

投与中止の基準

ANC	1000/mm ³ 未満
その他	Grade3以上の運動ニューロパチー Grade4以上の末梢神経障害 進行性多巣性白質脳症・皮膚粘膜眼症候群・急性 肺炎の発現

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度(時間)	投与日(d1, d8等)
プレントキシマブ ベドチン(アドセトリス)	1.8mg/kg ^{※1}	AQ10.5mL/Vで溶解 輸液100mL ^{※2} で希釈	30分	d1
ドキシソルピシン	50mg/m ²	輸液適量 計100mL	15-60分	d1
シクロホスファミド(エンドキサン)	750mg/m ²	輸液500mL	2-3時間	d1
プレドニゾン	100mg/day	経口or点滴		d1-5
【使用を考慮】 ベグフィルグラステム(ジーラスタ) ^{※3}	3.6mg ^{※3}	皮下注		day2以降 (投与終了24時間を超える)
※1:体重が100kgを超える場合は100kgとして計算 ※2:アドセトリス最終濃度が0.4~1.2mg/mLの範囲になるように希釈 ※3:ジーラスタは高価なため、入院加療の際は、他のG-CSF製剤の使用を考慮				

1日投与順 (経時的にプレメディケーション・ホストメディケーション、 溶解液まで含む)
day1 ①グラニセトロン3mg/パック(15-30分) ②ドキシソルピシン50mg/m ² +輸液適量(15-60分) ③エンドキサン750mg/m ² +輸液500mL(2-3時間) ④生食50mL(フラッシュ用) ⑤アドセトリス1.8mg/kg ^{※1} +注射用水10.5mL/Vで 溶解(5mg/mL)+輸液100mL ^{※2} (30分) ⑥生食50mL(フラッシュ用) day1-5 プレドニン100mg内服 【使用を考慮】 day2以降 ジーラスタ皮下注 3.6mg ^{※3}